

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
基礎知識・理論コース											
A インテリアデザインを豊かにする知識(1)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
モジュール番号	第 回 授業	配信日	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
A	1	1	20170412	入学ガイダンス	カリキュラム、学習方法とルール	1	スケジュール	コースルール	カリキュラム紹介		
A	2	1	20170412	英国のインテリアデザインマーケット	デザインマーケットとプロの活躍	1	ロンドンの世界デザイン市場における位置付け。なぜロンドンが経済学的に重要なのか。	インテリアデザイナーがなぜ存在し、なぜ重要な職業なのか。その歴史は。どうして市場を牽引できる集団なのか。トップデザイナーの役割。	BIDデザイナー連のビジネスモデル。コースが目指すものインテリア市場の拡大ガラバゴスインテリアからの脱却	日本でもセオリーを理解し、スキルを持ち、作品で勝負できる本物のセレクトデザイナーを	
A	3	2	20170419	デザインプロセスの理解	BIDデザイナーが主導的役割で行うプロジェクとプロセスの理解	1	デザインプロセスの理解	プロとしてどのように伝えるのか。デザインプロセスを共有することの重要性。	クライアントとしてどう理解するのか。クライアント視線からの理解。		
A	4	2	20170419	英国のインテリアデザインマーケット	インテリアデザイナー、建築家、プロの協業の在り方	1	英国におけるプロの協業の実際とその有効性に関する理解	なぜ協業で素晴らしい家ができるのか	日本で協業の可能性を広げるための職能と職域	クライアントの立場で最もふさわしい協業の在り方を知る	
A	5	3	20170426	デザインの種	デザイナーとしての知識と眼を磨く	1	デザインはどこから来るのか、デザインの種の幅広さを知る	真似ごとでなく、何々風でなく、本物を目指す重要性	デザインの軸、デザインの幹を作る手法で、揺るがない大木を花開かせる	デザインの領域を広げる手法。雑誌、ウェブ映像を素材に。	デザインコンセプトの重要性と実際、その作り方
A	6	4	20170510	デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	歴史チャートから読み取るもの。なぜ全方位的な歴史理解がインテリアに必要なのか。	ギリシャ	ローマ	初期キリスト教	ビザンチン
A	7	5	20170517	デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロマネスク	ゴシック	ルネッサンス	バロック	
A	8	6	20170524	デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロココ	新古典主義	エンパイヤー	リージェンシー	
A	9	7	20170607	デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ゴシックリバイバル	折衷主義	ヴィクトリアン		
A	10	8	20170614	デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	アーツアンドクラフツ	アールヌーボー	キュビズム	アールデコ	
A	11	9	20170621	デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	モダニズム	ミッドセンチュリー	ポストモダニズム	20世紀家具の系譜	
A	12	10	20170628	ジャポニズム	ジャポニズムと日本美術、伝統工芸のデザインにおける応用	1	日本デザインの歴史の評価	ジャポニズムの誕生	近代から現代における日本デザインの世界への影響	Zenデザインの欧州での発生と発展、その系譜	現代の日本人デザイナー連の世界での活躍
A	13	10	20180628	ジャポニズム	ジャポニズムと日本美術、伝統工芸のデザインにおける応用	1	日本の伝統工芸の理解	伝統工芸のインテリアにおける可能性	自らのプロジェクトにどう生かすか	伝統工芸を訪ねる	伝統工芸使用例研究

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
17	A インテリアデザインを豊かにする知識(2)											
18	モジュール番号	第 回 授業	配信日	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
19	A	14	11	20170712	デザインとサステイナビリティ	1	サステイナブル理論の基礎。	インテリアデザインへの応用とは。	トレンドに見るサステイナブル事例研究	サステイナブルをキーワードに、豊かな暮らしを取り戻そう。	日本の伝統工芸のサステイナブルな発展へ	
20	A	15	11	20170712	デザインとサステイナビリティ	1	ロンドンオリンピックが市場の拡大にもたらした真のレガシーとは。	デザインディストリクトの発展により、サステイナブルタウンが誕生。その意味とは。	ライフスタイルの転換。働き方のドラマティックな転換が起き、新たな家具市場が創造されていた。	事例研究、美しいロンドンイースト地域のデザイン産源地への大転換。	文化の再興とオリンピックの大きな関連性。日本でもオリンピックをインテリア産業発展の契機に。	
21	A	16	12	20170719	ホテルが牽引するデザインマーケット	1	ロンドンで生まれたホテルデザインの2大潮流とは。	ブティックホテルの派生と発展。ブティックホテルが生まれる都市こそがデザインの産源地。	ロンドンキーホテルのデザイン分析とそこでのセレクトデザイナー達の挑戦。	日本でのブティックホテルの可能性と、デザイナーが果たす役割。	ブティックホテルデザインが日本の住宅インテリアを変えていく。	
22	A	17	13	20170730	インテリアトレンド	1	欧州インテリアトレンドのダイナミズム	インテリアトレンドの重要性と意味	インテリアトレンドを競む トrend分析プロセス	トレンドをどう自らのデザインに取り入れるか	スタイルを表現する形容詞等	
23	A	18	14	20170804	インテリアトレンド	1	インテリアトレンド分析 Paris	インテリアトレンド分析 Milan	インテリアトレンド分析 London			
24	A	19	15	20170823	デザインスタイル	1	エクレクティックスタイル	インダストリアルスタイル マスキュリンスタイル	シャビーシックスタイル 姫系スタイル	エスニックスタイル Nomadoスタイル		
25	A	20	16	20170830	ライフスタイルデザイン	1	ファッションとインテリアのトレンドや時代への関連性	ファッションレーベルのインテリアへの進出	ライフスタイルブランドとしてのインテリアアプローチ	ファッションレーベルのマーケティングから学べるもの		
26	A	21	16	20170830	アートとトレンド	1	欧州アート市場のダイナミズム	アートにおけるトレンド	なぜアートが重要か。アートなしでは空間は完成しない。	アートが作り出す様々な空間		
27					コマ数	26						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
28	B インテリアセオリー												
29	モジュール番号	第 回 授業	配信日	エリア	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4		
30	B	1	20170906	空間の理解	最も基本となる空間への理解	1	インテリアセオリー セオリーとは何か。なぜ重要か。	洋の空間と和の空間の根本的な違いを理解する	洋空間の基礎理論 洋空間をどう作るか	間違いだらけの洋空間理解	美しい洋空間を知る。事例研究		
31	B	2	20170913	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル	1	英国のスタンダード間取りとレイアウトの意味。タウンハウスには、優れたセオリーが凝縮する。	住宅とライフスタイル (パブリックとプライベート、フォーマルとファミリー空間の考え方と関連性)	レイアウトセオリー アプローチ、エントランスホール、階段、廊下、フォーマルリビングルーム、ダイニングルーム	レイアウトセオリー キッチン。食生活を中心としたファミリールーム	空間とレイアウト パスルーム、寝室とオンスイート、ゲストWC		
32	B	2	20170913	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル 事例研究	1	マンションモデルルーム空間変換事例研究						
33	B	4	20170922	色	色彩 基礎と応用	1	色彩と空間の基礎理論	色彩の歴史と文化。歴史色に現れる色彩の地理的距離の違い。気候条件と色彩。	理論を外したところに真の実力が見える色彩の応用。英国デザイナー達の挑戦。	カラーとトレンド。過去のトレンドリポートに見るトレンドカラーの変遷	色彩と年齢。それぞれの年齢条件により検討すべき項目が違う。		
34	B	5	20170922	色	色彩 事例研究	1	色彩事例にみる各色のパフォーマンス(赤、青、緑、黄色、アースカラー、金、銀、モノクロ他)	各色における事例研究。過去事例から、本当に使える色彩導入を研究。					
35	B	7	20171004	ソフトファニッシング	ソフトファニッシング	1	ソフトファニッシングの重要性と基礎。アイテムとバランスの理解	窓周りのセオリー	寝室のソフトファニッシングセオリー	リビングでのソフトファニッシングのセオリー	様々なテイストの可能性を事例研究		
36	B	6	20171011	照明	照明の効果	1	照明の基礎理論	照明と素材の関連性	照明の上級テクニックと世界の照明権威へのアクセス	窓の形状、自然光の採り入れ方と照明手法のバランス	照明の事例研究		
37	B	8	20171018	マテリアル	ハードマテリアル	1	マテリアルの重要性	マテリアル、ペイント	マテリアル 床材 (木質系、タイル系)	マテリアル キャビネット面材	世界のトップデザイナーはマテリアルづかいも特別。マテリアルの事例研究		
38	B	8	20171018	マテリアル	ソフトマテリアル	1	マテリアル、カーペット	マテリアル、壁紙がつくり出す豊かな世界	壁紙の歴史と発展	重要メーカーの理解	震災復興壁紙プロジェクト 壁紙アートプロジェクト その意義と活動の重要性		
39	B	9	20171025	家具	家具	1	家具の構造の理解 良い家具の見分け方 米VS欧 ラインの見極め方	欧州、家具の歴史と派生まとめ	家具と建具の使い分けで空間はもっと深みあるものに。収納 見せる収納と隠す収納	イタリアがなぜ世界の大産地になり得たのか。イタリア高級メーカーの2大潮流。世界的メーカー研究	家具の見極めのためには潮流から。本物を見ることの重要性。日本にも家具美術館を。		
40	B	9	20171025	建具	建具	1	インテリアセオリー 建具	建具の領域と可能性	建具のスタイルとデザインスタイルの関連性	建具におけるディテールの作り方	英国のトップデザイナーの作りだす建具デザインの世界。事例研究。		
41	B	10	20171101	アンティークとヴィンテージ	アンティークとヴィンテージ、エイジング手法	1	インテリアセオリー アンティークとヴィンテージアイテムが作り出す豊かな世界	コンテンツポラリ空間といかに合わせるか	アンティークとヴィンテージを持つことの意味	サステイナブルと修復、修繕、次世代に引き継ぐために	時代をエレクトリックに合わせるテクニックと事例研究		
42	B	11	20171108	フィニッシングタッチ	アクセサリーとフィニッシングタッチ	1	インテリアセオリー フィニッシングタッチとスタイリングのセオリー	アークオリティを誇る欧州のラグ市場、そのダイナミズムとデザインにおける事例研究	インテリアにおける鏡の効果と重要性、そのダイナミックな使用例	テーブルトップコーディネーションの奥深い世界とその理解の必要性。食とライフスタイル。	フラワーアレンジメント、本、観葉植物、香り、映像と音楽など、暮らしを彩る仕掛けへの理解		
43	B	12	20171125	写真	写真撮影とスタイリング	1	プロによる写真撮影の重要性と、撮影現場におけるインテリアデザイナーの役割の理解	インテリア写真の基本テクニックを事例をもとに研究	悪い例をあえて紹介。こういう写真は掲載してはいけない	写真修正の基本テクニック	ビューとしてインテリアを撮ることの重要性。スタイリングメンタリティが家を美しくする		
44	B	13	20171205	デザイナーとしての知能と眼を磨く	特別な商材を見つける	1	ストーリーを持つ商材が入るとどうデザインが発展するのか	メーカー研究とトレードアカウント	欧州一流メーカー	ロンドンの超一流メーカーの理解	ロンドンの魅力 ここは訪ねたい 情報はこう仕入れたらいい		
45	B	14	20171227	英国の住宅市場	家の歴史と人々の暮らし	1	英国の歴史建築とその保護の在り方。なぜそこまで古いものを大切にしているのか。	英国人にとってのインテリアとは。なぜここまで情熱を傾けるのか。	住宅の寿命が延びた時、市場がどう変化するのか。	英国の建築の基本的理解	古い建築のリノベーションに関する基本理解		
46	B	15	20170101	コースレビュー	初回での問題提起を振り返る	1	コースレビュー	住宅政策による市場拡大の事例、イタリアとイギリスの成功例。	戦後の住宅政策がつくり出した日本の間取りとインテリアの悲劇	なぜモダニズム建築だけが規範となってしまったのか。			
47	B	16	20170101	日本の住宅市場の未来へ	日本の現状をチャンスとして	1	ライフステージによるインテリア。人生と共に成熟させるインテリアの重要性。	リノベーション、リフォームにおけるインテリア投資とその効果。	オリンピックを文化と伝統を見直し、サステイナブルインテリアの英魂と考える。	インバウンドと民泊が作り出す新たな家を使ったビジネスモデル。	ライフスタイルデザインをキーワードにすることで生まれる広範囲の需要。		
48	B	17	20170102	BIID日本支部設立	BIID日本支部設立とその意義	1	BIID日本支部設立までの歩み	支部設立により目指すもの	行動目標と計画				
49					コマ数	14							